

			年 度	2022 年度	
			科目コード	C-K01	
授 業 科 目 名			授業形態	学科・コース	
コミュニケーション活動 I			実技・演習	コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	60	2	渡辺 弘輝／梅原 萌子 ／島田 幸紀
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
球技大会やハイキング、各種展示会の見学、その他行事など、通常の教科の学習を越えた範囲のさまざまな学習活動を行う。校外での集団行動も多く、チームワークなど教室の授業では得られない学習効果が期待できる。コミュニケーション能力を向上させ、より良い人間関係を構築できるようになる。					
授 業 の 概 要					
各種行事（入学式・始業式・終業式・ハイキング・球技大会や展示会見学など）が科目として消化される。欠席しないことが大事である。					
成 績 評 価 の 方 法					
各行事への学習意欲で評価する。 学習意欲 100%					
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
なし					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
1.入学式 2.新入生オリエンテーション 2.ボーリング大会 3.ハイキング 4.防災訓練 5.秋の遠足 6.デジタルコンテンツEXPO 7.スポーツフェスティバル 8.始業式・終業式など			時間数		時間数
			4 10 4 8 2 8 8 8		
その他			関連科目		

			年 度	2022 年度			
			科目コード	C-K02			
授 業 科 目 名		授業形態	学科・コース				
コミュニケーション活動II		実技・演習	コンピュータ科				
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	通年	必修	90	3	青木 伴暢／島田 幸紀		
授業の目的・到達目標							
始業式、終業式、卒業式など各種行事、および球技大会やハイキングなどの体育活動などを実施する。修学旅行も周囲に配慮しながら集団行動することを学ぶ絶好の機会であり、授業では得られない学習効果が期待できる。コミュニケーション能力を向上させ、より良い人間関係を構築できるようになる。							
授 業 の 概 要							
各種行事（入学式・始業式・終業式・ハイキング・球技大会や展示会見学など）が科目として消化される。欠席しないことが大事である。							
成 績 評 価 の 方 法							
各行事への学習意欲で評価する。							
学習意欲 100%							
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材							
なし							
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画							
1. 始業式・終業式など 2. ボーリング大会 3. ハイキング 4. 防災訓練 5. 秋の遠足 6. スポーツフェスティバル 7. 修学旅行 8. 企業説明会・卒業式等			時間数		時間数		
			8 4 8 2 8 8 40 12				
その他			関連科目				

シラバス(授業概要)			時間数は45分換算		年 度	2022年度		
			科目コード		C-K03			
授業科目名			授業形態		学科・コース			
キャリアサポート			講義・演習		コンピュータ科			
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員			
1	通年	必須	30	1	人材サポート 長崎一朗 富田美穂子			
授業の目的・到達目標								
「なぜ人は働くのか」通常、「経済的理由・社会的理由・個人的理由」と言われるが、どれに重きを置くかは、それぞれの価値観と置かれた環境に大きく影響される。この授業は、現実の社会、企業が求める人材、雇用情勢の把握と、その中の自分のあり方についての理解(自己分析)を深め、そこから進路選択につながるキャリア形成プランニングを体系化していく。さらに早い時期から就職活動への意識を高め、その実践的ノウハウを習得する。変化していく雇用環境に対応できる自立人間と自律人材になることを目標とし、その礎となる授業である。								
授業の概要								
キャリアデザインの考え方を理解し、社会に通用する人材になるための指標を持つ。時間の意識・挨拶等マナーの理解と実践・スピーチ力トレーニング・ディスカッション等によりEQコミュニケーション力の強化も図る。就職環境・業種・職種・企業の理解促進。自己分析のワークシート(課題)と履歴書(課題)を作成し、今後の就職活動にも連動していく。								
成績評価の方法								
出席日数・キャリアデザイン自己分析ワークシート記入内容・履歴書記入内容・レポートの結果や取組み状況に基づき、成績評価を行う。ワークシートへは詳細に記入することを心掛けてください。						課題 80% 学習意欲 20%		
使用テキスト・教材								
「就活のコツ」/静岡新聞社 授業に関するテキスト以外の資料は、授業の中で適時プリントを配布します								
授業内容・授業計画								
1 就職環境の理解／①天職探索 2 キャリアデザイン／②10年後のありたい自分 ③学生生活で力をいたしたこと 3 業種・職種の理解／④成功体験 4 キャリアビジョンを考える／⑤失敗体験 5 自己分析の重要性／⑥自己ワーク 6 企業研究／⑦他己ワーク 7 情報収集／⑧仕事探索⑨未来予想ワーク ⑩未来スケジュール 8 職場訪問・インターンシップ ⑪就職条件⑫インターンシップワーク	時間数 2 2 2 2 2 2 2 2 2	9 履歴書／⑬履歴書ワーク※「学校指定」履歴書 10 エントリーシート／⑭エントリーシートワーク ⑮自己PRワーク 11 面接の受け方／⑯面接質問ワークI 12 面接の受け方／⑯面接質問ワークII 13 ビジネスマナー・添え状・お札状 ／⑰添え状・お札状ワーク 14 キャリアデザイン論総括 15 就職ゼミ			時間数 2 2 2 2 2 2 2 2 6			
その他			関連科目					
企業が求める常識力、規律意識、ビジネスマナーを授業でも心掛けてください。			ビジネスマナー					

シラバス (授業概要)			時間数は45分換算	年 度	2022年度
				科目コード	C-K04
授業科目名		授業形態		学科・コース	
就職指導		演習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	選択B 選択者必修	30	1	松川 麻美
授業の目的・到達目標					
社会人にとって様々な年齢層や価値観の方と円滑に仕事をするために必須となる「ビジネスマナー」や「コミュニケーション」の取り方を知識だけでなくロールプレイングし、習得する。					
授業の概要					
「社会人としての心構えやルール」、「効率的な仕事の進め方」、「変化への機敏な対応」を学び、ビジネスで起こりうるミスや失敗などの事例を取り上げ、各場面の対応方法を身につけていく。 また「名刺交換」や「指示の受け方」など基本的なビジネスマナーをロールプレイングし体得する。					
成績評価の方法					
授業に取り組む姿勢や ロールプレイングの正確性・柔軟性を判定する。					
期末試験 60% 学習意欲 40%					
使用テキスト・教材					
社会人のための基本のビジネスマナー ナツメ社					
授業内容・授業計画					
1 会社活動の基本 2 コミュニケーションとビジネスマナー 3 指示の受け方 4 電話応対 5 来客応対と訪問のマナー 6 仕事への取組み、進め方 7 ビジネス文書とビジネスメール 8 情報収集、新聞 9 期末試験			時間数		時間数
6 4 2 4 2 2 4 4 2					
その他			関連科目		

			年 度	2022 年度	
シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		科目コード	C-K05
授業科目名			授業形態		
コミュニケーション技法			演習		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	2	寺尾 寿樹
授業の目的・到達目標					
自分の意見をまとめ、対面でもオンラインでも相手に伝わる発表ができるようになる。 PowerPoint を活用して、視覚的なプレゼンテーション資料を作成できるようになる。 就職活動や新人研修等で自分のイメージに合うセルフプレゼンテーションができるようになる。					
授業の概要					
オンラインを含め、ビジネス現場で求められる伝わる説明（報告・連絡・相談・確認等）やわかりやすく伝えるためにおさえておきたいポイントを確認し、相手に理解してもらうために必要な自己伝達力のスキルアップを自己の発表や他人のパフォーマンスから学び、気づきや発見を通して身に付ける。					
成績評価の方法					
課題内容の評価だけでなく、提出状況及び発表時の個別のパフォーマンスの評価を行うとともに日頃の授業に対する取り組みの姿勢を加味して評価する。					
使用テキスト・教材					
① 30時間でマスターOffice2019 (実教出版) ② パワーアップ版 わかる！伝わる！プレゼン力 (武蔵野大学出版会) ③ プリント資料 (担当教員自作)					
授業内容・授業計画					
1. プrezentationとは 2. PowerPoint 基本操作の確認 (練習課題の作成と提出) 3. 課題制作1 4. 発表1 5. 課題制作振り返り・修整・提出 6. 課題制作2 7. 発表2 8. 課題制作振り返り・修整・提出 9. 期末試験 10. まとめ	時間数	1 3 5 4 2 5 4 2 2 2			時間数
その他	関連科目				
*科目的性質上、個別に取り組む課題作成において、不明点や疑問点の解消等グループ・ペアでの取り組みを実施、気づきや発見の機会を生み出すように促す。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2022年度				
授業科目名		授業形態		科目コード	C-K06				
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員				
1	後期	必修	30	2	寺尾 寿樹				
授業の目的・到達目標									
目的：社会で喜ばれ、役に立つ人になるために必要なヒューマンスキル（人間力）向上のため 目標：就職活動のためだけでなく、社会人として知っておきたいビジネスマナーのポイントを理解し実践できる									
授業の概要									
就職活動を前に現在の自分の常識力や把握しておくべきビジネスマナーを確認していく。今後社会活動をする上で必要なコミュニケーションスキル向上に磨きをかける。授業での課題を通じて、自分は今何をするべきか？自分に今できることは何か？を「自分で判断・選択・行動できる人になる」ための基礎力を養成する。									
成績評価の方法									
筆記試験の結果と課題内容及び提出状況、授業時の学習意欲等取り組みの姿勢を加味して成績評価を行う。									
期末試験 50% 課題 35% 学習意欲 15%									
使用テキスト・教材									
① 「マイナビ 2024 オフィシャル就活 BOOK 要点マスター！就活マナー (マイナビ出版) ② プリント資料 (担当教員自作)									
授業内容・授業計画									
1.オリエンテーション 2.取材カード等による伝えるために必要な情報収集とコミュニケーション技法の習得 3.自己理解のための演習（自己分析・アセスメントツール実施と解説・自己PR準備） 4.挨拶・言葉遣い・立ち居振る舞い・ビジネス上の基本的な心構え・マナー力の養成 5.ビジネス用語・ビジネス文書・ビジネスメールの作成等ビジネススキルの養成 6.ビジネス電話の応対：基本的な流れの確認とロールプレイイング（実践演習）									
7. テーマ別グループディスカッション（集団討論）の実践演習 8. 資料映像等の視聴とレポート作成および発表・情報のシェアリング 9. 発声・滑舌・ボイストレーニングの実践演習 10. インターンシップ及び就職活動に役立つ応募書類作成（添削指導含） 11. 模擬面接トレーニング（1） 12. 模擬面接トレーニング（2） 13. 筆記テストおよびまとめ									
その他			関連科目						
*筆記試験対策としてミテスト方式で知識の確認を実施 *1分間スピーチを実施：プレゼンテーション能力の向上									

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2022年度
				科目コード	C-K07
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Officeアプリケーション基礎		演習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	60	2	島田 幸紀／梅原 萌子
授業の目的・到達目標					
Microsoft Office 2019 の Word と Excel の基礎を習得する。Word・Excel の操作及び演習を通して、それぞれのアプリケーションの理解を深める。ビジネス文書作成、関数を使った表作成、VBA を使った簡単なプログラムが理解できるようになる。					
授業の概要					
Word では、様々な機能を習得し、最終的に簡単な表と図などが含まれたビジネス文書を作成することが出来るようになる。Excel では、基礎的な関数、少し高度な関数 (IF・VLOOKUP) の習得、グラフ、データベース機能、VBA の基礎について学習し、基本情報処理試験、ITパスポート試験の表計算分野の問題が解ける力を身に付ける。					
成績評価の方法					
学習意欲、演習課題の評価点を総合評価したうえで決定する。演習課題については、要求された課題を、決められた期日までに提出することが最低条件である。				課題	80%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
30時間でマスター Word&Excel2019 (実教出版) 演習課題 (自作)					
授業内容・授業計画					
Word		時間数	Excel		時間数
1.書式設定		3	1.書式設定、演算、統計関数		4
2.表作成		3	2.絶対参照、RANK 関数		3
3.ビジネス文書フォーマット		3	3.VLOOKUP 関数		4
4.図形・画像処理		3	4.IF 関数		4
5.演習問題		4	5.グラフ作成		2
6.課題作成		4	6.データベース機能		3
			7.マクロ作成		5
			8.簡単なVBA 作成		5
			9.演習問題		5
			10.試験対策		5
その他		関連科目			

シラバス (授業概要)			時間数は45分換算		年 度	2022年度		
					科目コード	C-K08		
授業科目名			授業形態		学科・コース			
情報基礎理論			講義		コンピュータ科 プログラムコース			
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員			
1	前期	必修	30	2	島田 幸紀			
授業の目的・到達目標								
基本情報技術者試験におけるハードウェア分野において、合格に十分な得点を取ることを目標とする。 2進数～16進数の基礎的な計算、基数返還ができる。 コンピュータの五大装置について理解し、その役割を説明できる。								
授業の概要								
情報および情報処理の基礎を学ぶ。特に2進数、8進数、16進数の取り扱いや基数変換をはじめ、コンピュータの五大装置や文字コード、文字や数値表現など、基本的な仕組みを学習する。								
成績評価の方法								
試験結果および授業態度等を勘案して総合評価する。						期末試験 80% 学習意欲 20%		
使用テキスト・教材								
コンピュータ概論（ウィネット） 基本情報技術者午前問題集（インフォテック・サーブ）								
授業内容・授業計画								
コンピュータの種類 入出力装置 コンピュータの基本構成 プロセッサ メモリ 補助記憶装置 記憶階層			時間数	入出力インターフェイス データの表現 文字コード 2進数 論理演算 統計 過去問演習・期末テスト		時間数		
			2 2 2 2 2 2 2			2 2 2 2 2 2 4		
その他			関連科目					

シラバス (授業概要)			時間数は45分換算		年 度	2022年度		
					科目コード	C-K08		
授業科目名			授業形態		学科・コース			
情報基礎理論			講義		コンピュータ科 ビジネスコース			
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員			
1	前期	必修	30	2	島田 幸紀			
授業の目的・到達目標								
基本情報技術者試験におけるハードウェア分野において、合格に十分な得点を取ることを目標とする。 2進数～16進数の基礎的な計算、基数返還ができる。 コンピュータの五大装置について理解し、その役割を説明できる。								
授業の概要								
情報および情報処理の基礎を学ぶ。特に2進数、8進数、16進数の取り扱いや基数変換をはじめ、コンピュータの五大装置や文字コード、文字や数値表現など、基本的な仕組みを学習する。								
成績評価の方法								
試験結果および授業態度等を勘案して総合評価する。						期末試験 80% 学習意欲 20%		
使用テキスト・教材								
「身につく！合格！ITパスポート」「サブノート」(インフォテック・サーブ) 「ITパスポート試験過去問題集」(インフォテック・サーブ)								
授業内容・授業計画								
コンピュータの種類 入出力装置 コンピュータの基本構成 プロセッサ メモリ 補助記憶装置 記憶階層			時間数	入出力インターフェイス データの表現 文字コード 2進数 論理演算 統計 過去問演習・期末テスト		時間数		
						2 2 2 2 2 2 2 4		
その他			関連科目					

シラバス (授業概要)			時間数は45分換算	年 度	2022年度			
授業科目名			授業形態	科目コード				
コンピュータシステム			講義	コンピュータ科 プログラムコース				
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員			
1	前期	必修	60	4	山崎 弘／青木伴暢			
授業の目的・到達目標								
現在、私たちが生活している社会は「情報化社会」と呼ばれており、情報処理の知識は必要不可欠なものとなっている。ハードウェア・情報処理システム・ソフトウェアの基本的な知識を学ぶ。情報処理技術者試験の取得に必要な知識を習得し、対象範囲の問題に対応できるようになる。								
授業の概要								
コンピュータの基本構成、情報処理システムの処理形態、ソフトウェアの分類等、情報処理の基本的な用語や役割を学ぶ。問題演習を行い、理解力を深める。								
成績評価の方法								
試験結果および出欠席状況、授業態度等を勘案して総合評価とする。 期末試験 80% 小テスト 10% 学習意欲 10%								
使用テキスト・教材								
コンピュータ概論 (ウィネット) 基本情報技術者午前問題集 (インフォテック・サーブ)								
授業内容・授業計画								
第4章 システムの構成要素 第1節 システムの評価指標 第2節 システムの構成 第3節 高信頼化技術 第5章 ソフトウェア 第1節 ソフトウェアの分類とOS 第6章 マルチメディア 第1節 マルチメディア 第7章 AI (人工知能) 第1節 AI (人工知能)	時間数				時間数			
その他	関連科目							

シラバス (授業概要)			時間数は45分換算		年度	2022年度			
					科目コード	C-K09			
授業科目名			授業形態		学科・コース				
コンピュータシステム			講義		コンピュータ科 ビジネスコース				
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員				
1	前期	必修	60	4	梅原 萌子				
授業の目的・到達目標									
現在、私たちが生活している社会は「情報化社会」と呼ばれており、情報処理の知識は必要不可欠なものとなっている。ハードウェア・情報処理システム・ソフトウェアの基本的な知識を学ぶ。情報処理技術者試験の取得に必要な知識を習得し、対象範囲の問題に対応できるようになる。									
授業の概要									
コンピュータの基本構成、情報処理システムの処理形態、ソフトウェアの分類等、情報処理の基本的な用語や役割を学ぶ。問題演習を行い、理解力を深める。									
成績評価の方法									
試験結果および出欠席状況、授業態度等を勘案して総合評価とする。						期末試験 80% 小テスト 10% 学習意欲 10%			
使用テキスト・教材									
「身につく！合格！ITパスポート」「サブノート」(インフォテック・サーブ) 「ITパスポート試験過去問題集」(インフォテック・サーブ)									
授業内容・授業計画									
第1部 第2章 ソフトウェアとマルチメディア 第3章 システム構成			時間数 10 10						
第3部 第1章 アルゴリズムとプログラミング			9						
期末試験			1						
その他			関連科目						

シラバス (授業概要)			時間数は45分換算		年度	2022年度		
					科目コード	C-K10		
授業科目名			授業形態		学科・コース			
データベース基礎			講義		コンピュータ科 プログラムコース			
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員			
1	前期	必修	30	2	渡辺 弘輝			
授業の目的・到達目標								
基本情報技術者試験におけるデータベース分野において、合格に十分な得点を取ることを目標とする。 データベースの概念設計から物理設計までの概要と DBMS に対する概要を理解している。 SQL を利用した基礎的なデータ操作を実行でき、机上の問い合わせに答えることができる。								
授業の概要								
関係データベースを中心に、データモデルとデータベースシステムの基本概念を理解し、データ設計(正規化)やデータ操作(SQL)、データ管理の原則と方法を学習する。 また、授業範囲と対応する基本情報技術者試験の午前問題集を活用し、問題を解く力につける。								
成績評価の方法								
試験結果および授業態度等を勘案して総合評価する。						期末試験 80% 学習意欲 20%		
使用テキスト・教材								
システム開発技術(ウィネット) 基本情報技術者午前問題集(インフォテック・サーブ)								
授業内容・授業計画								
第1節 データのモデル化 第2節 データベース設計 第3節 データの正規化 第4節 SQL の基本 第5節 SQL の応用 第6節 データベースの演算 第7節 データベース管理システム 第8節 データベース応用			時間数			時間数		
3 4 4 4 4 4 4 3								
その他			関連科目					

シラバス (授業概要)			時間数は45分換算		年度	2022年度			
					科目コード	C-K10			
授業科目名			授業形態		学科・コース				
データベース基礎			講義		コンピュータ科 ビジネスコース				
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員				
1	前期	必修	30	2	梅原 萌子				
授業の目的・到達目標									
基本情報技術者試験におけるデータベース分野において、合格に十分な得点を取ることを目標とする。 データベースの概念設計から物理設計までの概要と DBMS に対する概要を理解している。 SQL を利用した基礎的なデータ操作を実行でき、机上の問い合わせに答えることができる。									
授業の概要									
関係データベースを中心に、データモデルとデータベースシステムの基本概念を理解し、授業範囲と対応する IT パスポート試験過去問題集を活用し、問題を解く力をつける。									
成績評価の方法									
試験結果および授業態度等を勘案して総合評価する。						期末試験 80% 学習意欲 20%			
使用テキスト・教材									
「身につく！合格！IT パスポート」(インフォテック・サーブ) 「IT パスポート試験過去問題集」(インフォテック・サーブ) 「身につく！合格！IT パスポート サブノート」(インフォテック・サーブ)									
授業内容・授業計画									
関係データベースの設計 データの正規化 関係データベースのデータ操作 データベースの保全機能 データベースのリカバリ機能 NoSQL とビッグデータ 期末試験			時間数 5 5 5 5 5 4 1						
その他			関連科目						

シラバス (授業概要)			時間数は45分換算		年度	2022年度			
					科目コード	C-K11			
授業科目名			授業形態		学科・コース				
ネットワーク基礎			講義		コンピュータ科 プログラムコース				
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員				
1	前期	必修	30	2	坂本 登喜雄／高木 健至				
授業の目的・到達目標									
インターネットに代表される、コンピュータネットワークの基礎知識を学び、ネットワーク構築技術を習得する。情報処理技術者試験の取得に必要な知識を習得し対象範囲の問題に対応できるようになる。									
授業の概要									
ネットワークの基礎技術と、プロトコルを始めとするアーキテクチャに関する知識から、我々の生活を支える社会基盤となっているLAN、インターネットの仕組みを学習する。									
成績評価の方法									
試験結果および出欠席状況、授業態度等を勘案して総合評価する。						期末試験 90% 学習意欲 10%			
使用テキスト・教材									
システム開発技術（ウィネット） 基本情報技術者午前問題集（インフォテック・サーブ）									
授業内容・授業計画									
1. 第1節 ネットワーク方式 2. 第2節 OSI 基本参照モデル 3. 第3節 TCP/IP プロトコル 4. 第4節 IP アドレス 5. 第5節 ネットワーク管理 6. 第6節 TCP/IP アプリケーション 7. 第7節 ネットワーク応用技術 8. 期末試験			時間数 4 4 4 4 4 4 2 4						
その他									
*実務経験のある教員が担当する科目である									

			年 度	2022 年度			
シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		科目コード	C-K11		
授業科目名			授業形態				
ネットワーク基礎			講義				
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	前期	必修	30	2	高木 健至		
授業の目的・到達目標							
インターネットに代表される、コンピュータネットワークの基礎知識を学び、ネットワーク構築技術を習得する。情報処理技術者試験の取得に必要な知識を習得し対象範囲の問題に対応できるようになる。							
授業の概要							
ネットワークの基礎技術と、プロトコルを始めとするアーキテクチャに関する知識から、我々の生活を支える社会基盤となっている LAN、インターネットの仕組みを学習する。授業範囲と対応する IT パスポート試験過去問題集を活用し、問題を解く力につける。							
成績評価の方法							
試験結果および出欠席状況、授業態度等を勘案して総合評価する。							
期末試験 90% 学習意欲 10%							
使用テキスト・教材							
「身につく！合格！IT パスポート」(インフォテック・サーブ) 「IT パスポート試験過去問題集」(インフォテック・サーブ) 「身につく！合格！IT パスポート サブノート」(インフォテック・サーブ)							
授業内容・授業計画							
ネットワークの基本構成 LAN 間接続装置 通信プロトコル インターネットの仕組み インターネットのサービス 通信サービス 期末試験			時間数 5 5 5 5 5 4 1				
その他			関連科目				
*実務経験のある教員が担当する科目である							

シラバス (授業概要)			年 度	2022 年度
時間数は45分換算			科目コード	C-K12
授業科目名			学科・コース	
システム開発基礎			講義 コンピュータ科 プログラムコース	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数
1	前期	必修	30	2
授業の目的・到達目標				
情報処理技術者試験の基本処理技術者試験の経営戦略及びマネジメントに関する分野（企業と法務、経営戦略、情報システム戦略、開発技術）を学習する。情報処理技術者試験の取得に必要な知識を習得し対象範囲の問題に対応できるようになる。				
授業の概要				
情報処理技術に関連した、下記の分野を学習する。 ・システム開発とマネジメント ・サービスマネジメントとシステム戦略 ・OR IE				
成績評価の方法				
試験結果に、学習意欲を加算して、総合評価する。				期末試験 90% 学習意欲 10%
使用テキスト・教材				
マネジメントと情報化（ウィネット） 基本情報技術者午前問題集（インフォテック・サーブ）				
授業内容・授業計画				
1. システム開発とマネジメント 第1節 システム開発とは 第2節 システム開発の流れ 第3節 要件定義 第4節 開発プロセスと手法 第5節 システム設計 第6節 プログラミング 第7節 テスト手法 第8節 プロジェクトマネジメント	時間数	2. サービスマネジメントと システム戦略 第1節 サービスマネジメント 第2節 システム監査 第3節 企業におけるシステム戦略 第4節 情報システムの活用 第5節 システム企画 3. OR・IE 第1節 応用数学 第2節 OR・IE 4. 試験	時間数	
	1		2	
	2		2	
	2		1	
	2		2	
	2		1	
	2		2	
	2		2	
	2		2	
その他		関連科目		
*実務経験のある教員が担当する科目である				

シラバス (授業概要)			時間数は45分換算		年 度	2022年度		
授業科目名			授業形態		科目コード			
システム開発基礎			講義		コンピュータ科 ビジネスコース			
履修学年			履修学期	必修・選択	時間数	単位数		
1			前期	必修	30	2		
授業の目的・到達目標								
情報処理技術者試験の基本処理技術者試験の経営戦略及びマネジメントに関する分野（企業と法務、経営戦略、情報システム戦略、開発技術）を学習する。ITパスポート試験の取得に必要な知識を習得し対象範囲の問題に対応できるようになる。								
授業の概要								
情報処理技術に関連した、下記の分野を学習する。 ・システム開発とマネジメント ・サービスマネジメントとシステム戦略 ・OR IE ・サービスマネジメントとシステム戦略								
成績評価の方法								
試験結果に、学習意欲を加算して、総合評価する。						期末試験 90% 学習意欲 10%		
使用テキスト・教材								
「身につく！合格！ITパスポート」（インフォテック・サーブ） 「ITパスポート試験過去問題集」（インフォテック・サーブ） 「身につく！合格！ITパスポート サブノート」（インフォテック・サーブ）								
授業内容・授業計画								
1. システム開発技術 第1節 システム開発技術の概要 第2節 システム開発プロセス 第3節 ソフトウェア実装プロセス 第4節 ソフトウェア開発管理技術 第5節 テスト工程 第6節 保守プロセス			時間数	2. マネジメント 第1節 マネジメントの概要 第2節 プロジェクトマネジメント 第3節 プロジェクト タイムマネジメント 第4節 その他の知識エリア 第5節 サービスマネジメント 第6節 サービスサポート サービスデリバリ 第7節 ファシリティマネジメント 第8節 監査業務 第9節 内部統制 3. 試験		時間数		
その他			関連科目					
*実務経験のある教員が担当する科目である								

シラバス (授業概要)			時間数は45分換算	年 度	2022年度		
授業科目名			授業形態	科目コード 学科・コース			
コンピュータテクノロジー			講義・演習	コンピュータ科			
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	前期	必修	60	4	青木 伴暢		
授業の目的・到達目標							
情報分野を学ぶ者にとって、実際のコンピュータ製品を理解することは重要なことである。 CompTIA ITF+ 試験で問われる内容に対応できるようになる。							
授業の概要							
テキストの単元に沿って進めていく。ハードウェア、ソフトウェア、周辺機器等については、テキストだけでなく各種パーツの实物に触ることで、より理解度を深める。また、単元終了ごとに小テストを行い、単語やキーワードの理解、定着を図る。							
成績評価の方法							
小テスト、CompTIA ITF+ 試験結果および出欠席状況、期末試験結果を勘案して総合評価する。							
期末試験 60% 課題 20% 学習意欲 20%							
使用テキスト・教材							
ITF+ IT Fundamentals 問題集と解説							
授業内容・授業計画							
1. イントロダクション 2. ITの概要と専門用語 3. インフラストラクチャ 4. アプリケーションとソフトウェア 5. ソフトウェア開発の概要 6. データベースの基礎 7. セキュリティ 8. 期末試験 9. CompTIA ITF+試験			時間数 4 8 8 8 8 8 4 4 8				
その他			関連科目				
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

			年 度	2022 年度			
			科目コード	C-K14			
授 業 科 目 名		授業形態	学科・コース				
ホームページ制作演習			演習				
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	後期	必修	30	1	磯部 勉		
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標							
Web サイト制作に必要となる HTML5、CSS3 によるコーディング方法を学習する。教員が提示するサンプルをもとに、Web ページを 1 ページ作成できるようになる。							
授 業 の 概 要							
あらゆる Web 制作において、HTML5、CSS3 は必須の知識であり、Web 系の基礎科目として非常に重要な授業となる。本授業では、サンプルページを制作しながら実践的に言語を学ぶため、欠課数が増えると、試験の結果に大きく影響する。ブラウザによる動作確認、教材の事典を用いながら、単語の意味を理解していくことが大切である。							
成 績 評 価 の 方 法							
授業ごとの課題提出を最大評価する。与えられた課題に積極的に取り組むことでページ構造の理解と作成技術が身についたことを示せれば優とする。					課題提出 80% 学習意欲 20%		
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材							
・サンプルページ見本（担当教員自作）							
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画							
1. オリエンテーション 2. ボックスレイアウト 3-1. 1 カラム 3-2. 2 カラム 3. サンプルページ制作 4-1. header 4-2. nav 4-3. main 4-4. section・article 4-5. aside (sidebar) 4-6. footer 4. ページデザイン 5. ページ制作			時間数		時間数		
			1 3 4 3 3 2 4 2 2 2 2 4				
その他			関連科目				

シラバス (授業概要)			時間数は45分換算		年度	2022年度		
					科目コード	C-K15		
授業科目名			授業形態		学科・コース			
情報セキュリティ			講義		コンピュータ科 プログラムコース			
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員			
1	通年	必修	90	2	渡辺 弘輝			
授業の目的・到達目標								
インターネットを中心に発展した情報技術のうち、情報セキュリティに関する基礎的知識及び技術を理解する。 基本情報処理技術者試験の取得に必要な知識を習得し対象範囲の問題に対応できるようになる。								
授業の概要								
公開鍵暗号技術を中心とした現在の情報セキュリティ基盤を学習し、その概要を理解する。また、情報セキュリティ対策を、人的対策、技術的対策及び物理的対策毎に学習する。 基本情報技術者試験、ITパスポート試験対策として、問題集のうち情報セキュリティ問題を実施する。								
成績評価の方法								
試験結果に、学習意欲を加算して、総合評価する。						期末試験 90% 学習意欲 10%		
使用テキスト・教材								
システム開発技術（ウィネット） SEA/J テキスト 基本情報技術者午前問題集（インフォテック・サーブ）								
授業内容・授業計画								
情報セキュリティ 1. 3-1 情報セキュリティ 2. 3-2 システムへの攻撃手法 3. 3-3 暗号化技術 4. 3-4 認証技術 5. 3-5 セキュリティ技術 6. 3-6 セキュリティリスク 7. 3-7 セキュリティ管理 8. 前期末試験			時間数 4 6 6 6 6 4 4 4	SEA/J 試験対策 SEA/J 試験		時間数 48 2		
その他			関連科目					
*実務経験のある教員が担当する科目である								

シラバス (授業概要)			年 度	2022 年度
時間数は45分換算			科目コード	C-K15
授業科目名			学科・コース	
情報セキュリティ			講義 コンピュータ科 ビジネスコース	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数
1	通年	必修	90	2
授業の目的・到達目標				
インターネットを中心に発展した情報技術のうち、情報セキュリティに関する基礎的知識及び技術を理解する。 基本情報処理技術者試験の取得に必要な知識を習得し対象範囲の問題に対応できるようになる。				
授業の概要				
公開鍵暗号技術を中心とした現在の情報セキュリティ基盤を学習し、その概要を理解する。また、情報セキュリティ対策を、人的対策、技術的対策及び物理的対策毎に学習する。 基本情報技術者試験、ITパスポート試験対策として、問題集のうち情報セキュリティ問題を実施する。				
成績評価の方法				
試験結果に、学習意欲を加算して、総合評価する。				
使用テキスト・教材				
「身につく！合格！IT パスポート」(インフォテック・サーブ) 「IT パスポート試験過去問題集」(インフォテック・サーブ) 「身につく！合格！IT パスポート サブノート」(インフォテック・サーブ) SEA/J テキスト				
授業内容・授業計画				
情報セキュリティ 1. 情報セキュリティの概要 2. 情報セキュリティの脅威① 3. 情報セキュリティの脅威② 4. 情報セキュリティの管理 5. 情報セキュリティの対策 6. アクセス制御 7. 暗号化/デジタル署名 8. 前期末試験			時間数 4 6 6 6 6 4 4 4	時間数 48 2
その他			関連科目	
*実務経験のある教員が担当する科目である				

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年 度	2022年度
授業科目名		授業形態	科目コード C-K16		
IT戦略		講義	コンピュータ科 プログラムコース		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	2	島田 幸紀
授業の目的・到達目標					
情報マネジメントとシステム監査と内部統制について学習する。プロジェクトマネジメント、サービスマネジメントの手法やマーケティング手法を中心に学習する。基本情報技術者試験、ITパスポート試験の合格を目指す。ストラテジ・マネジメント関連の話題が理解できるようになる。					
授業の概要					
基本情報技術者試験、ITパスポート試験の範囲であるストラテジ・マネジメント分野の基本的な用語や役割を総合的にまとめる。単元ごと基礎用語の理解度を図る小テストを実施するため家庭での自主学習も必要である。					
成績評価の方法					
単元ごとに実施する小テストの結果、過去試験問題結果、学習意欲と授業態度を勘案して総合評価する。					
期末試験 80% 学習意欲 20%					
使用テキスト・教材					
マネジメントと情報化(ウィネット) 基本情報技術者午前問題集(インフォテック・サーブ)					
授業内容・授業計画					
第1部 企業と法務 第1章 企業活動 第2章 企業会計 第3章 経営科学 第4章 法務と標準化 第2部 経営戦略 第1章 経営戦略マネジメント 第2章 技術戦略マネジメント 第3章 ビジネスインダストリ	時間数 3 3 3 3 4 4 4	時間数 3 3 3 3 4 4 4	第3部 情報システム戦略 第1章 情報システム戦略の概要 第2章 情報システム企画	時間数 3 3	
その他		関連科目			

シラバス(授業概要)		時間数は45分換算		年度	2022年度			
授業科目名		授業形態		科目コード				
IT戦略		講義		コンピュータ科 ビジネスコース				
履修学年		履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1 前期 必修 30 2 島田 幸紀								
授業の目的・到達目標								
情報マネジメントとシステム監査と内部統制について学習する。プロジェクトマネジメント、サービスマネジメントの手法やマーケティング手法を中心に学習する。基本情報技術者試験、ITパスポート試験の合格を目指す。ストラテジ・マネジメント関連の話題が理解できるようになる。								
授業の概要								
ITパスポート試験の範囲であるストラテジ・マネジメント分野の基本的な用語や役割を総合的にまとめる。単元ごと基礎用語の理解度を図る小テストを実施するため家庭での自主学習も必要である。								
成績評価の方法								
単元ごとに実施する小テストの結果、過去試験問題結果、学習意欲と授業態度を勘案して総合評価する。						期末試験 80% 学習意欲 20%		
使用テキスト・教材								
「身につく！合格！ITパスポート」(インフォテック・サーブ) 「ITパスポート試験過去問題集」(インフォテック・サーブ) 「身につく！合格！ITパスポート サブノート」(インフォテック・サーブ)								
授業内容・授業計画								
第1章 企業と法務 1. 企業と法務の概要 2. 企業活動 3. 経営組織 4. 業務分析 5. 問題解決手法 6. 意思決定 7. 企業会計 8. 知的財産権 9. セキュリティ・労働・取引の関連法規 10. ガイドライン・情報倫理 11. 標準化関連		時間数 1 1 1 2 1 1 2 1 2 2 1	第2章 経営戦略 1. 経営戦略の概要 2. 経営戦略 3. 経営情報分析手法 4. マーケティング 5. ビジネス戦略 6. 技術開発戦略 7. 経営管理システム 8. ビジネスシステム 9. エンジニアリングシステム 10. e-ビジネス(電子商取引) 11. 民生機器/産業機器 12. 期末試験		時間数 1 1 1 2 1 1 2 1 2 1 1 1			
その他		関連科目						

シラバス (授業概要)			時間数は45分換算		年 度	2022年度		
					科目コード	C-K17		
授業科目名			授業形態		学科・コース			
卒業研究			演習		コンピュータ科 プログラムコース			
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員			
2	後期	必修	240	8	青木 伴暢／坂本 登喜雄／ 梅原 萌子／渡辺 弘輝			
授業の目的・到達目標								
これまでに学んだスキルを活かした作品制作、または授業で習得していないツールなどを使用し、独自に研究をすすめた作品制作など、コンピュータ科にて2年間学習してきた成果を発揮できるようになる。								
授業の概要								
2年間の学習成果をまとめたための総合的な研究を行う。各種開発ツールを駆使した、システム開発・マルチメディアソフト・ネットワーク対応ソフト、オフィス簡易プログラムを制作し、研究レポートにまとめ、作品発表会を行う。								
成績評価の方法								
作品、提出物、プレゼンテーションおよび学習意欲を総合評価する。						提出物 80% 学習意欲 20%		
使用テキスト・教材								
なし								
授業内容・授業計画								
1.企画、要件定義、レビュー 2.外部設計、内部設計、レビュー 3.プログラム設計、プログラミング 4.中間発表 5.プログラムの修正 6.各種ドキュメント作成 7.リハーサル 8.研究発表			時間数			時間数		
その他			関連科目					

シラバス (授業概要)			年 度	2022 年度
時間数は45分換算			科目コード	C-K17
授業科目名			学科・コース	
卒業研究			演習 コンピュータ科 ビジネスコース	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数
2	後期	必修	240	8
授業の目的・到達目標				
これまでに学んだスキルを活かした作品制作、または授業で習得していないツールなどを使用し、独自に研究をすすめた作品制作など、コンピュータ科にて2年間学習してきた成果を発揮できるようになる。				
授業の概要				
2年間の学習成果をまとめたための総合的な研究を行う。各種開発ツールを駆使した、システム開発・マルチメディアソフト・ネットワーク対応ソフト、オフィス簡易プログラムを制作し、研究レポートにまとめ、作品発表会を行う。				
成績評価の方法				
作品、提出物、プレゼンテーションおよび学習意欲を総合評価する。				
提出物 80% 学習意欲 20%				
使用テキスト・教材				
なし				
授業内容・授業計画				
1.企画、要件定義、レビュー 2.外部設計、内部設計、レビュー 3.プログラム設計、プログラミング 4.中間発表 5.プログラムの修正 6.各種ドキュメント作成 7.リハーサル 8.研究発表		時間数		時間数
20 20 120 10 30 20 10 10				
その他			関連科目	

			年 度	2022 年度			
シラバス (授 業 概 要)		時間数は45分換算	科目コード	C-K18			
授 業 科 目 名		授業形態	学科・コース				
特別講義 I		講義・演習	コンピュータ科 ビジネスコース				
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	通年	必修	30	1	内野 千珠子		
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標							
相手に寄り添う為に、相手の思いを〈聞く〉技術を身につける。 自己理解やセルフコントロール・より良い人間関係のスキルを学習し、日常生活で実践できる。							
授 業 の 概 要							
相手に寄り添って〈聞く〉ことを理解するための講義と、実践のための演習を多く取り入れる。セルフコントロールでき、より良い人間関係を体得するための様々なワークシートによる学習・協働学習・演習を取り入れ、それらの体験を日常生活に結びつけられるようにする。							
成 績 評 価 の 方 法							
期末試験の結果、学習意欲 (授業態度・授業後のレポート) を総合評価したうえで決定する。 学習意欲を測る授業態度においては、授業中の演習への取り組み・グループでの協働学習における態度が重要である。							
期末試験 60% 学習意欲 40%							
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材							
・「相手の気持ちをきちんと〈聞く〉技術」(平木典子) • ワークシート (自作他) ・アチーバス							
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画							
1. オリエンテーション・マインドセット 2. よりよいコミュニケーションをはかる 2-1 聞くことの重要性 2-2 自分も相手も大切にする会話 3. 相手の気持ちを理解する聞き方 4. 態度や表情で聞く 5. 「聴く」から生まれる適切なひと言 6. 様々な立場の人の話を聞く 7. 様々なタイプの人の話を聞く 8. 2つの心理学の違い 8-1 外的コントロール心理学 8-2 選択理論心理学 9. 基本的欲求 9-1 基本的欲求のプロフィールと特徴	時間数 2 1 1 2 2 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1	9-2 人との関わりの上での活用 10. 上質世界 10-1 自分の上質世界を知る 10-2 基本的欲求との関係 11. セルフコントロール 11-1 全行動のメカニズム 11-2 セルフコントロールの仕方 12. より良い人との関わり方 12-1 関係を近づける行動習慣 12-2 アチーバスから学ぶ 13. ケーススタディ 14. 期末試験 15. 期末試験解答の確認と解説 16. アンガーマネジメント	時間数 2 1 1 1 1 2 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1.5				
その他の活動		関連科目					

シラバス (授業概要)			時間数は45分換算		年度	2022年度		
					科目コード	C-K19		
授業科目名			授業形態		学科・コース			
特別講義II			演習		コンピュータ科			
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員			
2	後期	必修	30	2	島田 幸紀			
授業の目的・到達目標								
業務データを分析し、ビジネスの現状や課題を把握した上で、表やグラフを用いた的確な経営分析資料を作成する。チーム単位での演習を通して、ビジネス遂行に必要な「報告・連絡・相談」、「情報共有スキル」を習得することを目的とする。								
授業の概要								
株式会社KIDA-LAの「売上・利益率・業務効率の向上につながる施策」や「経費削減につながる施策」について多くの資料から読み取り施策を考える。店舗別の売上と顧客単価の比較、曜日や時間帯、天気や気温による売上の比較、売上アップ、経費削減、業務効率のいずれかの視点で作成した資料と改善提案をまとめて、発表できるようにする。								
成績評価の方法								
結果および授業態度等を勘案して総合評価する。						資料制作 20% 成果発表 70% 学習意欲 10%		
使用テキスト・教材								
情報分析演習 株式会社インフォテック・サーブ出版								
授業内容・授業計画								
Lesson1 : Excel の基本操作 Lesson2 : 表の作成 Lesson3 : 表の編集 Lesson4 : 絶対参照 Lesson5 : 関数の利用① Lesson6 : 関数の利用② Lesson7 : グラフの作成 Lesson8 : 印刷			時間数 4 4 2	Lesson9 : 資料作成演習① Lesson10 : データベース機能 Lesson11 : 便利な機能 Lesson12 : Windows の基本 Lesson13 : 資料作成演習② Lesson14 : データ分析演習 課題作成 Lesson15 : 情報分析演習 発表・評価		時間数 6 4 6 4		
その他			関連科目					
企業連携授業								

シラバス (授業概要)			時間数は45分換算		年度	2022年度			
					科目コード	C-K20			
授業科目名			授業形態		学科・コース				
アルゴリズム			講義・演習		コンピュータ科 プログラムコース				
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員				
1	通年	選択A 選択者必修	60	4	青木 伴暢				
授業の目的・到達目標									
プログラムを構築するためには、効率よくトレースしやすい処理手順を考えなくてはならない。 3つの基本構造を理解し、配列による集計や、並び替えなど様々な処理手順を理解する。 基本情報技術者試験の取得に必要な知識を習得し対象範囲の問題に対応できるようになる。									
授業の概要									
データ構造とアルゴリズムについて学習する。フローチャートの作成やトレース、よりプログラムに近い疑似言語を学習する。 また、基本情報技術者試験で必要なアルゴリズム分野を学習する。									
成績評価の方法									
小テスト、試験結果および出欠席状況、授業態度等を勘案して総合評価する。						期末試験 80% 課題 10% 学習意欲 10%			
使用テキスト・教材									
アルゴリズムとデータ構造 ウィネット コンピュータ概論（ウィネット） 基本情報技術者午前問題集（インフォテック・サーブ）									
授業内容・授業計画									
入門 流れ図 疑似言語 計算のアルゴリズム 基本情報午前対策 配列 探索 整列 データ構造 実践アルゴリズム 期末試験			時間数 4 4 4 8 12 4 4 4 4 10 2						
その他			関連科目						

シラバス (授業概要)			時間数は45分換算	年 度	2022度
				科目コード	C-K21
授業科目名		授業形態		学科・コース	
プログラム言語 I		講義・演習		コンピュータ科 プログラムコース	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	選択A 選択者必修	120	4	上杉 徳彦
授業の目的・到達目標					
マイクロソフト社製の開発環境を用いて、プログラミングの学習を行う。 文法の理解から始め、Windows プログラミングとはどのようなものなのかを理解しながら、さまざまなアプリケーションを開発できるようになる。					
授業の概要					
Windows プログラミング言語として C#、コンソールアプリケーションの言語として C 言語を学習する。C#ではフォーム上へのコントロール(部品)の配置や、プロパティ(部品の性質)の設定、イベントによる処理手順(イベントハンドラー)、プロシージャの作成方法を学習し、C 言語では C 言語検定3級の合格を目指し、C 言語の基礎を学習する。					
成績評価の方法					
試験結果および課題提出、出席状況や授業態度等を勘案して総合評価する。					期末試験 40% 課題 40% 学習意欲 20%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・Visual C# 2022 パーフェクトマスター 秀和システム ・C プログラミング インフォテックサービス 					
授業内容・授業計画					
.Net Framework の概要 Visual Studio によるデスクトップアプリの開発 変数と演算子 データ型とキャスト If と条件式 繰り返し 配列 Windows フォームアプリケーションの構造 コントロールとコンポーネントの操作 イベントドリブンプログラミング	時間数				時間数
	1	C 言語の基本			1
	1	データの入力と出力			2
		プログラムの基本構造			6
	1	配列			2
	1	プリプロセッサ			2
	2	演習問題			2
	1				
	2				
	2				
その他			関連科目		
			アルゴリズム基礎		

シラバス (授業概要)			年 度	2022 年度	
時間数は45分換算		科目コード	C-K22		
授業科目名		授業形態			学科・コース
プログラム言語II		演習			コンピュータ科 プログラムコース
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	選択A 選択者必修	90	3	坂本 登喜雄
授業の目的・到達目標					
Object指向(カプセル化、継承、ポリモーフィズム)を利用したプログラミングができる。 クラス、インスタンス及びオブジェクトの作成とその利用ができる。 Windowsアプリケーションを作成できる。					
授業の概要					
Java言語は、Windows, Network, Web及びAndroidアプリケーションの作成言語として、広く利用されている。Java言語の基本知識を習得し、この言語によりアプリケーション開発技術を高める。					
成績評価の方法					
実習中の課題制作の評価に授業態度を加算して、総合評価を行う。					
課題 80% 学習意欲 20%					
使用テキスト・教材					
Java 第3版 入門編 ゼロからはじめるプログラミング(翔泳社) Java 第3版 実践編 アプリケーション作りの基本(翔泳社)					
授業内容・授業計画					
入門編	時間数				時間数
1. Java言語に触れる。	3	3. スレッド			4
2. Java言語の基本	3	4. ガーベッジコレクション			4
3. 条件分岐と繰り返し	4	5. コレクション			4
4. メソッド	4	6. ラムダ式			4
5. クラスの基本	4	7. 入出力			4
6. クラスの一歩進んだ使い方	4	8. JavaFXによるGUIアプリケーション			4
7. 継承	4	9. グラフィックスとマウスイベント			4
8. 抽象クラスとインターフェース	4	10. ネットワーク			4
実践編		11. 一歩進んだJavaプログラミング			4
1. パッケージとJavaAPI	2	Windowsアプリ作成			20
2. 例外処理	2				
その他		関連科目			

シラバス (授業概要)			年 度	2022 年度
時間数は45分換算			科目コード	C-K23
授業科目名		授業形態	学科・コース	
プログラム言語III		演習	コンピュータ科 プログラムコース	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数
2	前期	選択A 選択者必修	60	2
授業の目的・到達目標				
近年利用が増えているプログラム言語 Python によるプログラム開発の基本を学習する。 Python の基本を習得し、将来的に機械学習やデータ分析に応用できることを目的とする。				
授業の概要				
Web アプリケーションで用いられる PHP を学習する。基本構文から、SQL を使ったデータの挿入や取出まで、Web アプリケーション開発の基礎力を養う。なお、この授業は「ビジネスアプリケーション」を行うための前提授業となる。				
成績評価の方法				
演習課題及び学習意欲（出欠状況・授業態度）を総合評価したうえで決定する。				課題 80% 学習意欲 20%
使用テキスト・教材				
Python チュートリアル 第4版（オンラインリージャパン）				
授業内容・授業計画				
1. Python を使う準備	時間数 2	7. 入出力	時間数 6	
2. Python インタープリタ	2	8. エラーと例外	4	
3. データ型	4	9. クラス	6	
4. 制御構造	6	10. 標準ライブラリ	8	
5. データ構造	6	11. 応用及び演習	10	
6. モジュール	6			
その他		関連科目		

シラバス (授業概要)			時間数は45分換算		年度	2022年度			
					科目コード	C-K24			
授業科目名			授業形態		学科・コース				
プログラム言語IV			実習		コンピュータ科 プログラムコース				
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員				
2	後期	選択A 選択者必修	60	2	杉山 光				
授業の目的・到達目標									
個人でAndroidを用いたアプリ制作ができる。 グループ内で協力してAndroidを用いたアプリ制作ができる。									
授業の概要									
Androidを用いたアプリ制作を基本とする。授業の前半は講義形式でAndroidアプリ開発の基本を学習し、後半はグループとなりAndroidアプリの制作を行う。									
成績評価の方法									
実習で作成したプログラム評価し、授業態度を加算して総合評価を行う。						課題 70% 学習意欲 30%			
使用テキスト・教材									
「やさしいAndroidプログラミング」(SOFTBANK Creative)									
授業内容・授業計画									
1. Android アプリケーションの概要と仕組み 2. Android アプリケーション開発基礎 3. Android アプリケーション開発演習 4. Android アプリケーション制作			時間数 5 15 10 30						
その他			関連科目						

			年 度	2022 年度
シラバス (授業概要)			科目コード	C-K25
			学科・コース	
ビジネスアプリケーション			コンピュータ科 プログラムコース	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数
2	通年	選択A 選択者必修	45	3
授業の目的・到達目標				
HTML と PHP の違いを明確にしたうえで、PHP が使われる場面とその仕組みを理解する。その後、PHP の基本構文を学習し、単元ごとに演習を行なながらその記述方法を習得する。最後に、フォームの実装を行い、自分の手でフォームによるデータ操作ができるようになることを目標とする。				
授業の概要				
Web アプリケーションで用いられる PHP を学習する。基本構文から、SQL を使ったデータの挿入や取出まで、Web アプリケーション開発の基礎力を養う。				
成績評価の方法				
演習課題及び学習意欲（出欠状況・授業態度）を総合評価したうえで決定する。 演習課題は、各 Chapter で制作した課題の提出を基本とする。				課題 80% 学習意欲 20%
使用テキスト・教材				
よくわかる PHP の教科書 マイナビ出版				
授業内容・授業計画				
Chapter.2 PHP を使う準備をしよう XAMPP インストール		時間数 2	UPDATE・DELETE SELECT オートインクリメント 複雑な条件操作	時間数
Chapter.3 PHP の基本を学ぼう 文字列表示・演算子 変数・繰り返し・配列 条件分岐・ファイルの読み書き フォーム・エラーチェック ページ遷移・Cookie セッション ファイルのアップロード		8	Chapter.5 Web システムを作ろう データベース接続 (PDO) Chapter.6 掲示板を作成する	10 17
Chapter.4 データベースの基本を学ぼう MySQL の使用 データベースの操作 SQL 文 CREATE・INSERT		8		
その他		関連科目		

シラバス (授業概要)			年 度	2022 年度
時間数は45分換算			科目コード	C-K26
授業科目名			学科・コース	
システム開発演習			コンピュータ科 プログラムコース	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数
1	後期	選択A 選択者必修	30	1
授業の目的・到達目標				
ソフトウェア開発技法である「構造化技法」を取り上げ、実践に近い事例を基に、技法が持つ特長を講義と演習を通して理解し、実践的な設計ができるスキルを養う。また、「オブジェクト指向」の設計についても学習を行う。専門用語の理解、設計書からの読み取り、設計書の修正が出来るようになる。				
授業の概要				
システム開発工程の方式設計～詳細設計の工程の作業について講義と演習課題を通じて学ぶ。グループワークを通して設計書類の加筆・修正を行い、その結果について随時に発表を行う。				
成績評価の方法				
授業の出席、授業態度、演習への取り組み、提出されたドキュメント、テストを通して総合的に判断する。			期末試験	60%
			課題	30%
			学習意欲	10%
使用テキスト・教材				
講師作成資料				
授業内容・授業計画				
・開発技法、構造化技法、構造化分析 ・構造化設計、構造化プログラミング、DOA ・演習事例紹介、良い例、悪い例の比較 ・良い例、悪い例の比較結果解説&演習課題①の説明 ・演習課題①実施(グループワーク) ・ヒント提示&演習課題①実施(グループワーク) ・演習課題①実施(グループワーク) ・演習課題①実践(グループワーク)	時間数	・演習課題①発表&解説 ・演習課題②(縮小版)の説明&演習課題②実施(グループワーク) ・演習課題②実施(グループワーク) ・演習課題②発表 + 演習課題②解説 ・オブジェクト指向とは ・構造化技法とオブジェクト指向との比較+テスト対策勉強 ・テスト	時間数	
	2		2	
	2		2	
	2		2	
	2		2	
	2		2	
	2		2	
	2		2	
	2		2	
その他		関連科目		

			年 度	2022 年度			
シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		科目コード	C-K27		
授業科目名			授業形態				
情報処理試験対策			講義				
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	通年	選択A 選択者必修	150	5	梅原 萌子／渡辺 弘輝／ 上杉 徳彦／青木 伴暢		
授業の目的・到達目標							
コンピュータ科重点目標である「基本情報技術者試験」の合格に向けた対策授業を行う。 試験に合格できるようになる。							
授業の概要							
前期学習する基本情報関連科目について、復習を中心とした理解度の定着と、基本情報技術者試験の過去問題から傾向と対策を施し、合格を目指した学習を行う。							
成績評価の方法							
出席状況、授業態度等を勘案して総合評価する。							
学習意欲 100%							
使用テキスト・教材							
情報処理試験問題集							
授業内容・授業計画							
基本情報対策授業 模擬試験			時間数 120 30				
その他			関連科目				

シラバス (授業概要)			時間数は45分換算		年度	2022年度		
					科目コード	C-K28		
授業科目名			授業形態		学科・コース			
資格取得講座 I			講義		コンピュータ科 プログラムコース			
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員			
1	後期	選択A 選択者必修	30	2	高木 健至			
授業の目的・到達目標								
デジタル通信に関する知識を習得し、通信に関する実践技術を、工事担任者試験DD3資格取得を目標として学習する。								
授業の概要								
通信技術の基礎となる電気電子、実践的な通信技術を学び、必要となる法規について、問題演習中心に学習する。								
成績評価の方法								
確認試験はテーマごとに行い、この結果と学習意欲等を勘案して総合評価する。						確認試験 70% 学習意欲 30%		
使用テキスト・教材								
工事担任者第2級デジタル実戦問題集（リックテレコム）								
授業内容・授業計画								
電気通信技術の基礎 電気回路、電子回路 論理回路 伝送理論 伝送技術 端末設備の接続のための技術及び理論 端末設備の技術 ネットワークの技術 情報セキュリティの技術 接続工事の技術			時間数 5 2 3 4 4 3 1 2	端末設備の接続に関する法規 電気通信事業法 工担者規則、認定等規則、有線法、設備令、不正アクセス禁止法 端末設備等規則		時間数 2 2 2 2		
その他			関連科目					

			年 度	2022 年度	
シラバス (授 業 概 要)		時間数は45分換算		科目コード	C-K29
授 業 科 目 名			授業形態		
資格取得講座II			講義		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	選択A 選択者必修	30	2	坂本 登喜雄
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
Oracle Java Bronze 試験の合格を目指す。 Oracle Java Bronze 試験合格のために Java SE 78 問題集を解けるようになる。					
授 業 の 概 要					
JAVA SE 78 問題集を実施する					
成 績 評 価 の 方 法					
Oracle の JAVA Bronze 試験と期末試験より年間評価を行う。					
課 題 80% 学習意欲 20%					
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
JAVA SE 問題集(インプレス)					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
JAVA SE 78 問題集を実施する。 1. JAVA 言語のプログラムの流れ 2. データ宣言と使用 3. 演算子と分岐文 4. ループ文 5. オブジェクト指向コンセプト 6. クラス定義とオブジェクトの生成、使用 7. 繙承とポリモーフィズム 8. 総仕上げ問題 試験	時間数				時間数
2 4 4 4 4 4 4 2 2					
そ の 他			関連科目		

シラバス (授業概要)			時間数は45分換算		年 度	2022年度		
					科目コード	C-K30		
授業科目名			授業形態		学科・コース			
工事担任者試験			講義		コンピュータ科 プログラムコース			
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員			
2	前期	選択A 選択者必修	60	4	高木 健至			
授業の目的・到達目標								
工事担任者試験 DD3種の取得を目指とする。 工事担任者試験 DD3種の取得のために必要な知識を習得し、工事担任者 DD3種実戦問題集を解けるようになる。								
授業の概要								
通信技術の基礎となる電気電子、実践的な通信技術を学び、必要となる法規について、問題演習中心に学習する。								
成績評価の方法								
確認試験はテーマごとを行い、この結果と学習意欲および修了試験を勘案して総合評価する。					修了試験 50%			
					確認試験 30%			
					学習意欲 20%			
使用テキスト・教材								
工事担任者第2級デジタル実戦問題集（リックテレコム）								
授業内容・授業計画								
1. 電気通信技術の基礎 1-1. 電気回路、電子回路 1-2. 論理回路 1-3. 伝送理論 1-4. 伝送技術 2. 端末設備の接続のための技術及び理論 2-1. 端末設備の技術 2-2. ネットワークの技術 2-3. 情報セキュリティの技術 2-4. 接続工事の技術			時間数	3. 端末設備の接続に関する法規 3-1. 電気通信事業法 3-2. 工担者規則、認定等規則、有線法、設備令、不正アクセス禁止法 3-3. 端末設備等規則		時間数		
			10 4 6 8 10 6 2 2			4 4 4 4		
その他			関連科目					

			年 度	2022 年度	
シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		科目コード	C-K31
授業科目名			学科・コース		
データベース応用			演習		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	選択A 選択者必修	60	2	青木 伴暢
授業の目的・到達目標					
データベースソフトウェアを使用してデータベースを構築することができる。 データベースソフトウェア上でSQLを使用し、データ操作をすることができる。					
授業の概要					
業務で取り扱われているデータベースソフトウェアを、実際にインストール、データベースの構築を通して、SQLを中心に学習を行う。					
成績評価の方法					
試験結果および課題提出、授業態度等を勘案して総合評価する。					
課題 80% 学習意欲 20%					
使用テキスト・教材					
オリジナル教材を利用する					
授業内容・授業計画					
1. SQL の基本ルール 2. 集合演算子・式と関数 3. 集計とグループ化 4. 副問い合わせ 5. テーブルの結合 6. トランザクション 7. 外部キーと参照整合性 8. データベースをより安全に使う 9. 概念設計・論理設計・物理設計 10. 正規化の手順 11. データベース構築演習			時間数		時間数
			2		
			4		
			4		
			4		
			6		
			6		
			6		
			6		
			6		
			10		
その他			関連科目		

			年 度	2022 年度			
シラバス (授 業 概 要)			時間数は45分換算	科目コード	C-K32		
授 業 科 目 名			授業形態	学科・コース			
ネットワーク応用			講義／演習	コンピュータ科 プログラムコース			
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	後期	選択A 選択者必修	60	2	杉山 光		
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標							
ネットワーク分野において基本情報技術者試験の対策授業で習得した知識をもとに、ネットワークの実践構築を行う。ネットワーク構築シミュレーションソフトを活用して、ネットワーク機器の設定や接続、LAN構築などネットワークに関する応用力を培う。							
授 業 の 概 要							
CISCO 製のネットワーク機器（スイッチやルータなど）の基本概念を理解することから入り、その機器を使った LAN 構築を演習する。インターネットを中心としたネットワークインフラの仕組みを理解し、機器の設定やケーブリングなど実践的な LAN の構築を行う。							
成 績 評 価 の 方 法							
演習課題の提出、小テストおよび期末試験をもとに、総合評価する。 期末試験 50% 課題 40% 学習意欲 10%							
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材							
プリント配布							
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画							
1.1・1.2 ネットワークの基本と TCP/IP の概要・イーサネット LAN の基礎 1.3 IPv4 アドレッシングの基礎 1.4 TCP と UDP 2.1 Cisco デバイスへのアクセス方法 2.2・2.3 Cisco IOS の操作の基本・Cisco IOS の基本設定 3.1 Catalyst スイッチの構造			時間数	4.1 ルータの基本設定と確認 4.2 ルーティングの基本 4.3・4.4 スタティックルーティング・ダイナミックルーティング 7.1 IPv6 の概要 7.2 IPv6 アドレスの設定と確認			
			2 2 4 6 6 8	12 8 6 2 4			
その他			関連科目				
Cisco Networking Academy							

シラバス (授業概要)			年 度	2022 年度	
時間数は45分換算			科目コード	C-K33	
授業科目名		授業形態	学科・コース		
システムアーキテクト演習		演習	コンピュータ科 プログラムコース		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	選択A 選択者必修	60	2	富張 一郎
授業の目的・到達目標					
情報システムは、益々大規模および高度化している。システムの効率的開発にオブジェクト指向の考え方には有効であり、一般化してきている。UMLは、オブジェクト指向の考えに沿った表記法であり、開発現場での意思疎通に重要となっている。 この講座では、UMLの基礎を学ぶことにより、UMLを活用した分析・設計作業ができるようになる。					
授業の概要					
UMLの主要7ダイアグラム(ユースケース図、アクティビティ図、オブジェクト図、クラス図、シーケンス図、コミュニケーション図、ステートマシン図)に重点を置いた説明を行う。 簡単な例をもとにした作図および文法を学ぶことにより、UMLの有効性認識と基本文法の体得を狙う。 また、設定したテーマで演習を行い、UMLによる分析・設計作業を実践する。 演習作業はグループで行い、ツールとしてastah*を使用する。					
成績評価の方法					
期末試験の結果、演習課題の評価および学習意欲をもとに、総合的に評価する。 学習意欲の評価方法は、基本的な事項を正しく理解出来ているか否の確認を小テストを随時行う。				期末試験	60%
				課題	20%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
「ゼロからわかる UML 超入門 [改訂2版]」技術評論社 ISBN: 978-4774190051					
授業内容・授業計画					
1. UMLツール(astah*)のインストール、 使用練習、など		時間数 4	10. その他の図 11. 演習 12. テスト(含. 小テスト)	時間数 4 6 4	
2. ユースケース図 (含. ユースケース記述)		6			
3. アクティビティ図		4	13. UMLの概要	2	
4. オブジェクト図、クラス図		6	14. モデル、オブジェクト指向	2	
5. 相互作用図 - シーケンス図 - コミュニケーション図		6			
6. ステートマシン図		4	(注) 13および14は、適宜実施		
7. 繙承		4			
8. 多態性、抽象クラス、インターフェース		4			
9. 複合オブジェクト、関連、汎化、集約		4			
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)			時間数は45分換算		年 度	2022年度		
					科目コード	C-K34		
授業科目名			授業形態		学科・コース			
サーバ構築演習			演習		コンピュータ科 プログラムコース			
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員			
2	通年	選択A 選択者必修	60	2	杉山 光			
授業の目的・到達目標								
各社サーバの役割を理解し、Linux サーバを構築することができる。 コマンドラインインターフェース (CLI) を用いて Linux サーバを操作することができる。								
授業の概要								
ノートパソコンに仮想化環境を利用して Linux を構築する。OS としてのサーバを構築することから始め、NFS サーバ・DHCP サーバ・DNS サーバ・Web サーバなどの各種サーバアプリケーションを構築する。 サーバ構築に必要な各種導入設定を行いながら、Linux コマンドライン操作を学習する。								
成績評価の方法								
受講レポート (時限ごとの提出) と実習課題の提出結果および授業態度等を含めて、期末筆記試験とで総合評価する。筆記試験はノート・受講レポート (ただし自筆に限る) のみ持ち込みを許可する。					期末試験	70%		
					課題	30%		
使用テキスト・教材								
テキスト：はじめての CentOS8 Linux サーバエンジニア入門編 自己所有ノートパソコン、@sangi.jp クラスルーム								
授業内容・授業計画								
1. 仮想化環境の構築 2. Linux の導入インストール 3. Linux の基本操作、コマンドライン 4. ユーザ管理・サービス管理 5. ネットワーク設定(CUI、GUI) 6. セキュリティ設定 7. リモート管理 8. NFS サーバの利用 9. DHCP サーバの構築 10. Windows ファイル共有サーバの構築 11. DNS サーバの構築 12.. メールサーバの構築			時間数	13. Web サーバの構築 14. サーバ仮想化	時間数			
			4 4 6 4 4 4 4 4 4 4 4 4	4 4 6 4 4 4 4 4 4 4 4 4	6 4			
その他			関連科目					
・自己所有ノートパソコンの空き容量確認 ・@sangi.jp 個人アカウント利用								

シラバス(授業概要)			時間数は45分換算	年 度	2022年度	
				科目コード	C-K35	
授業科目名		授業形態		学科・コース		
キャリアデザイン		講義・演習		コンピュータ科 ビジネスコース		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通年	必須	30	1	人材サポート 長崎一朗 富田美穂子	
授業の目的・到達目標						
「なぜ人は働くのか」通常、「経済的理由・社会的理由・個人的理由」と言われるが、どれに重きを置くかは、それぞれの価値観と置かれた環境に大きく影響される。この授業は、現実の社会、企業が求める人材、雇用情勢の把握と、その中の自分のあり方についての理解(自己分析)を深め、そこから進路選択につながるキャリア形成プランニングを体系化していく。さらに早い時期から就職活動への意識を高め、その実践的ノウハウを習得する。変化していく雇用環境に対応できる自立人間と自律人材になることを目標とし、その礎となる授業である。						
授業の概要						
キャリアデザインの考え方を理解し、社会に通用する人材になるための指標を持つ。時間の意識・挨拶等マナーの理解と実践・スピーチ力トレーニング・ディスカッション等によりEQコミュニケーション力の強化も図る。就職環境・業種・職種・企業の理解促進。自己分析のワークシート(課題)と履歴書(課題)を作成し、今後の就職活動にも連動していく。						
成績評価の方法						
出席日数・キャリアデザイン自己分析ワークシート記入内容・履歴書記入内容・レポートの結果や取組み状況に基づき、成績評価を行う。ワークシートへは詳細に記入することを心掛けてください。						
課題 80% 学習意欲 20%						
使用テキスト・教材						
「就活のコツ」/静岡新聞社 授業に関するテキスト以外の資料は、授業の中で適時プリントを配布します						
授業内容・授業計画						
1 就職環境の理解／①天職探索 2 キャリアデザイン／②10年後のありたい自分 ③学生生活で力をいたしたこと 3 業種・職種の理解／④成功体験 4 キャリアビジョンを考える／⑤失敗体験 5 自己分析の重要性／⑥自己ワーク 6 企業研究／⑦他己ワーク 7 情報収集／⑧仕事探索⑨未来予想ワーク ⑩未来スケジュール 8 職場訪問・インターンシップ ⑪就職条件⑫インターンシップワーク	時間数 2 2 2 2 2 2 2 2 2	9 履歴書／⑬履歴書ワーク※「学校指定」履歴書 10 エントリーシート／⑭エントリーシートワーク ⑮自己PRワーク 11 面接の受け方／⑯面接質問ワークI 12 面接の受け方／⑰面接質問ワークII 13 ビジネスマナー・添え状・お札状 ／⑯添え状・お札状ワーク 14 キャリアデザイン論総括			時間数 2 2 2 2 2 2 2 2 2	
その他			関連科目			
企業が求める常識力、規律意識、ビジネスマナーを授業でも心掛けてください。						

			年 度	2022 年度							
			科目コード	C-K36							
授 業 科 目 名			授業形態	学科・コース							
コミュニケーションスキル			講義・演習	コンピュータ科 ビジネスコース							
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員						
2	後期	選択B 選択者必修	30	30	武友 久美						
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標											
基本的なビジネススキルを学び、社会人一年目に良いスタートを切るために準備を行なう。実践の場と、実践に対する改善のフィードバックを繰り返すことで働く自分を具体的にイメージしてもらう。											
授 業 の 概 要											
電話応対、立ち振る舞い、交渉、プレゼンなどを学ぶ。実際に営業で活躍されている方からコミュニケーションのテクニックや商材や商品が売れていく仕組みをレクチャーしてもらう。プレゼンテーションの資料をつくり、資料を使って実演を行なう。											
成 績 評 価 の 方 法											
<ul style="list-style-type: none"> ・元気な挨拶、はきはきとした対応、感謝の言葉、相手を思いやるコミュニケーションを取ろうと努力しているか ・授業内での学びや気づきを毎回レポートにまとめる ・プレゼンテーションの内容と質 ・授業内での積極性または参加姿勢 <table> <tr> <td>参加姿勢</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td>レポート内容</td> <td>25%</td> </tr> <tr> <td>プレゼン内容</td> <td>25%</td> </tr> </table>						参加姿勢	50%	レポート内容	25%	プレゼン内容	25%
参加姿勢	50%										
レポート内容	25%										
プレゼン内容	25%										
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材											
なし											
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画											
1、楽しく働くために必要なもの 2、第一印象の大切さ、声で好感度をつくる 3、アクティブラッシングと相手を思いやるコミュニケーション 4、ビジネスマンに学ぶ「商談術」と体験ワーク			時間数								
			4	5、想いが伝わる効果的なプレゼンテーション	4						
			4	6、プレゼンテーションをつくろう	8						
			4	7、伝える力	2						
その他			関連科目								

シラバス (授業概要)			時間数は45分換算		年度	2022年度		
					科目コード	C-K37		
授業科目名			授業形態		学科・コース			
セクレタリー講座			講義		コンピュータ科 ビジネスコース			
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員			
1	通年	選択B 選択者必修	90	6	石黒 いずみ			
授業の目的・到達目標								
様々な職種に応用の効く、事務全般に関わる一般常識と接遇マナーを学習し、基本的なビジネススキルを身に付ける。社会人としての話し方、電話の応対ができるようになる。 秘書検定3級取得を目標とする。								
授業の概要								
検定では、理論領域と実務領域の両領域が合格基準を満たすことが必要とされる。 理論領域では、必要とされる資質、職務知識、一般知識を、実技領域では、マナー接遇、技能を学習する。実技領域では、演習を取り入れ、実際に役立てられる指導を実施する。								
成績評価の方法								
過去試験問題結果、テキストのレッスン毎に実施する振り返り問題結果、学習意欲、授業態度を勘案して総合評価する。					期末試験	60%		
					課題	20%		
					学習意欲	20%		
使用テキスト・教材								
「秘書検定3級 クイックマスター」(早稲田教育出版) 「秘書検定3級 実問題集」(早稲田教育出版)								
授業内容・授業計画								
1. 第1章 必要とされる資質 1-1 秘書の心構え 1-2 秘書に必要な条件 第2章 職務知識 2-1 秘書の役割と機能 2-2 秘書の職務 第3章 一般知識 3-1 企業の基礎知識 3-2 企業の組織と活動 3-3 社会常識	時間数	第4章 マナー・接遇 4-1 人間関係と話し方 4-2 話し方・聞き方の応用 4-3 電話の応対 第5章 技能 5-1 会議と秘書 5-2 ビジネス文書と秘書 5-3 文書管理 5-4 資料管理 5-5 日程管理・オフィス管理 過去問題 (8~9回分)			時間数			
	4	4-1 人間関係と話し方			4			
	6	4-2 話し方・聞き方の応用			8			
	6	4-3 電話の応対			8			
	4	4-4 接遇			8			
	2	4-5 交際			6			
	2	第5章 技能						
	2	5-1 会議と秘書			4			
	2	5-2 ビジネス文書と秘書			4			
	2	5-3 文書管理			4			
その他			関連科目					

シラバス (授業概要)			時間数は45分換算	年 度	2022年度				
				科目コード	C-K38				
授業科目名		授業形態	学科・コース						
Office アプリケーション活用 I		演習	コンピュータ科 ビジネスコース						
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員				
1	通年	選択B 選択者必修	150	5	梅原 萌子				
授業の目的・到達目標									
<p>Microsoft Office 2019 の Word・Excel の操作及び実習を通して、それぞれのアプリケーションの理解を深め、Microsoft 社認定試験合格を目指す。</p> <p>新入社員研修レベルの Word・Excel の操作ができるようになる。</p>									
授業の概要									
<p>それぞれの科目の4つの分野について、Office アプリケーション基礎で学習した操作を復習しながら、出題傾向について理解を進める。それぞれの問題での理解度をチェックしていく。</p> <p>テキストに付属している模擬問題を繰り返し学習し、制限時間内に検定合格ラインに到達できる理解と力を深める。</p>									
成績評価の方法									
検定結果および学習意欲、授業態度等を勘案して総合評価する。				小テスト	30%				
				課題	40%				
				学習意欲	30%				
使用テキスト・教材									
よくわかるマスター MOS Word 365&2019 Expert 対策テキスト&問題集 (FOM 出版)									
よくわかるマスター MOS Excel 365&2019 Expert 対策テキスト&問題集 (FOM 出版)									
授業内容・授業計画									
Word (MOS Word 2019 Expert) 1. アプリケーションのインストール 2. 文書のオプションと設定の管理 3. 高度な機能を使用した文書のデザイン 4. 高度な機能を使用した参考資料の作成 5. ユーザー設定の Word 要素の作成 6. 確認問題 7. 模擬試験問題・検定試験	時間数 1 8 8 16 6 4 32	Excel (MOS Excel 2019 Expert) 1. アプリケーションのインストール 2. ブックのオプションと設定の管理 3. ユーザー定義のデータ表示形式や レイアウトの適用 4. 高度な機能を使用した数式の作成 5. 高度な機能を使用したグラフやテ ーブルの作成 6. 確認問題 7. 模擬試験問題・検定試験	時間数 1 8 8 16 6 4 32						
その他			関連科目						
			C-K07_Office アプリケーション基礎						

			年 度	2022 年度			
			科目コード	C-K39			
授 業 科 目 名		授業形態	学科・コース				
Office アプリケーション活用Ⅱ		演習	コンピュータ科 ビジネスコース				
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	通年	選択B 選択者必修	120	4	島田 幸紀		
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標							
データベースソフト (Microsoft Access) の習得と Microsoft Office Specialist Access 2019 Expert の資格取得を目指す。データベース管理ができるようになる。							
授 業 の 概 要							
データベースの基本からフォーム・クエリの活用、データベースの設計やマクロについても学習していく。							
成 績 評 価 の 方 法							
模擬試験結果、検定試験結果、学習意欲を勘案し総合評価する。 検定試験 70% 模擬試験 20% 学習意欲 10%							
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材							
30 時間でマスター Access2013 (実教出版) Microsoft Office Specialist Access 365&2019 Expert 対策テキスト& 問題集 (FOM 出版)							
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画							
1.Access の基本 (フィルター、並べ替え) 2.データベースのデータ編集 (外部データ読み込み、画像データ挿入、フォーム) 3.テーブルの操作 (クエリ、集計、SQL) 4.データベースの設計 (リレーションシップ) 5.レポートの印刷 6.総合演習 (テーブル、フォーム、レポート) 7.マクロの利用 8.演習問題			時間数	Microsoft Office Specialist Access 2019 Expert 対策 1.データベースの作成と管理 2.テーブルの作成 3.クエリの作成 4.フォームの作成 5.レポートの作成 6.確認問題 7.模擬試験 8.検定試験			
その他			時間数	関連科目			

シラバス (授業概要)			時間数は45分換算	年 度	2022年度			
授業科目名			授業形態	科目コード C-K40				
アプリケーション応用			演習	コンピュータ科 ビジネスコース				
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員			
2	後期	選択B 選択者必修	60	2	島田 幸紀			
授業の目的・到達目標								
社会で使われているWORD、EXCELがビジネスシーンでどのように使用されているかを理解する。WORDでは複数ページの印刷物を作成ができ、EXCELでは勤務表、見積書などが作成できるようになる。またソフトなどの使用方法をインストラクションすることができる。								
授業の概要								
1年次の継続授業。1年次に学習したWORD、EXCELの機能が実務でどのように使われているかを確認しながら復習する。インストラクションの単元では、自らテキストを作成し、クラスメイトを受講生と見立てて授業を行う。								
成績評価の方法								
分野ごとにテストを行う。インストラクションのマニュアル作成、指導姿勢、学習意欲などを勘案する。				期末試験 課題 学習意欲	40% 40% 20%			
使用テキスト・教材								
プリント配布 できるExcel関数 Office365&2019 (インプレス)								
授業内容・授業計画								
EXCEL			時間数	時間数				
					WORD			
					11. 差し込み印刷			
					4			
					12. インデント、タブ			
					2			
					13. セクション区切り			
					2			
					14. スタイルと目次			
					4			
その他の					15. 文章の視覚化			
					4			
					16. 分野テスト			
					2			
					インストラクション			
					8			
					17. マニュアル、準備データ作成			
					6			
					18. インストラクション実施			
関連科目								
			C-K07_Office アプリケーション基礎 C-K38_Office アプリケーション活用 I					

			年 度	2022 年度			
シラバス (授 業 概 要)			時間数は45分換算	科目コード	C-K41		
授 業 科 目 名			授業形態	学科・コース			
VBA入門			講義・演習	コンピュータ科 ビジネスコース			
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	通年	選択B 選択者必修	60	2	石黒 いづみ		
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標							
即戦力として Excel を使いこなす事が出来るよう ExcelVBA を使用し、簡易プログラムやマクロについての知識や技術を身に付ける。定型業務などで簡単なプログラムを組むことで、仕事の効率化を図ることができるようになる。							
授 業 の 概 要							
最初に、手順を記録して作成する「マクロの記録」機能を習得する。マクロと ExcelVBA を使い分けて、効率の良いプログラム作成が出来るような力を養う。例題を解いた後、演習を行う。繰り返し演習を行うことにより、プログラムの意味を理解することが出来るようになる。							
成 績 評 価 の 方 法							
課題提出、期末試験、学習意欲を勘案して総合評価とする。							
期末試験 70% 課題 20% 学習意欲 10%							
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材							
例題 30+演習問題 70 でしっかり学ぶ ExcelVBA 標準テキスト (技術評論社)							
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画							
1.マクロとVBA 2.変数・配列とステートメント 3.プロシージャとVBA関数 4.セルの操作 5.ワークシートの操作 6.ワークブックとファイルの操作 7.データベース処理 8.ユーザーフォームの作成 9.確認問題 10.演習問題			時間数 4 6 6 6 6 6 6 6 7 7				
その他			関連科目				

シラバス (授業概要)			時間数は45分換算	年 度	2022年度
				科目コード	C-K42
授業科目名		授業形態	学科・コース		
クラウドアプリ入門		講義	コンピュータ科 ビジネスコース		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	選択B 選択者必修	30	1	青木 伴暢
授業の目的・到達目標					
インターネットを利用したサービスの多くが、クラウドコンピューティングによって実現されている。クラウドとは何か、クラウドの利用方法、クラウドを使った様々なアプリケーションを理解することで、IT技術のインフラとしてのクラウドサービスを利用できるようになる。					
授業の概要					
代表的なクラウドサービスである「Google G Suite」の利用を中心として、その中で提供されているサービスメニューを利用し理解していく。ノートパソコンと学校メールアドレスアカウントを利用することで「Google Apps」サービスを利用できる。実習を通じて多くのサービスを理解していく。					
成績評価の方法					
実習課題の提出結果、学習意欲を勘案して総合評価する。					
課題 80% 学習意欲 20%					
使用テキスト・教材					
なし					
授業内容・授業計画					
1.クラウドとは／Google Appsとは 2.Google Appsを使ってみる (1)Google Drive/Google Docs (ドキュメント) 簡単な文章の作成と保存 3.(2)Google Form (アンケート) アンケートの作成と企画の作成 企画の発表とアンケートの実施		時間数 2 4 4	4.(3)Google Docs (スプレッドシート、スライド) アンケート結果の集計/発表資料作成 5.(4)Google Calendar (予定表) WBSを作成してみる。 6.(5)Google Site (ホームページ) 職種図鑑の作成 7.Google Apps Scripts を使ってみる (1)Scriptsとは 8.(2)Scripts プログラミング	時間数 4 4 4 4 4 4 4	時間数 4 4 4 4 4 4 4
その他			関連科目		
各自ノートパソコンとインターネット接続が必要					

シラバス (授業概要)			時間数は45分換算	年 度	2022年度
				科目コード	C-K43
授業科目名		授業形態		学科・コース	
最新IT技術入門		講義・演習		コンピュータ科 ビジネスコース	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	選択B 選択者必修	30	2	青木 伴暢
授業の目的・到達目標					
RPA の基本的な知識、具体的な活用シーンをイメージできるようになる。 UiPath を活用して業務効率化ツールを作成できるようになる。					
授業の概要					
RPA を活用することで、仕事の効率化を行うことが出来る。 RPA とは何か、どのような利用シーンがあるか、どう効率化できるかを考えるとともに、ツールの利用方法を学ぶ。					
成績評価の方法					
授業内で作成したツールの提出と演習課題の提出結果、授業態度を勘案して総合評価する。					課題 80% 学習意欲 20%
使用テキスト・教材					
はじめての RPA UiPath 入門 秀和システム					
授業内容・授業計画					
01 RPA ってどういうこと? 02 レコーディングをマスターしよう 03 プログラミングをマスターしよう 04 Excel と連携させて業務を自動化しよう 05 Web サイトと連携させよう 06 業務の自動化に便利なテクニック 課題演習			時間数 2 4 4 4 4 4 8		時間数
その他			関連科目		

			年 度	2022 年度	
シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		科目コード	C-K44
授業科目名			授業形態		
ビジネス文書			講義		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	選択B 選択者必修	30	2	島田 幸紀
授業の目的・到達目標					
Microsoft Word 2019 を使用し、図や写真などの挿入と配置、デザイン的機能の操作方法を学び、見やすいレイアウト、配色などを学習する。文書デザイン検定1級取得を目指す。簡単なチラシ作成ができるようになる。					
授業の概要					
ビジネス文書の意義や文書の構成などについて知識を習得後、Word を使って文書デザイン検定問題に取り組む。最初に、過去問題を例に問題の解き方（入力方法）などについて学び、後半は問題集を使用し、制限時間内（50分）に、検定合格目標ライン（80%）に到達できるように理解力を深める。					
成績評価の方法					
検定結果および学習意欲、授業態度、課題提出等を勘案して総合評価する。					
課題 90% 学習意欲 10%					
使用テキスト・教材					
文書デザイン検定1級問題集（日本情報処理検定教会）					
授業内容・授業計画					
1. Word でのビジネス文書作成の復習 ビジネス文書の意義、文書の構成 図や写真などの挿入、文字列の折り返し 図形描画の作成、書式変更 図の調整・スタイル 2. 模擬問題 模擬1～模擬15			時間数		時間数
			2		
			2		
			2		
			2		
			22		
その他			関連科目		
			C-K07_Office アプリケーション基礎		

シラバス (授業概要)			時間数は45分換算		年 度	2022年度			
					科目コード	C-K45			
授業科目名			授業形態		学科・コース				
カラーコーディネイトI			演習		コンピュータ科 ビジネスコース				
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員				
1	後期	選択B 選択者必修	30	1	小長谷 由紀子				
授業の目的・到達目標									
色彩に関する基礎知識を学習する。色の組み合わせによる印象や色がもたらす効果など、生活の中で切り離すことができない色彩について学習する。 送り手の意図が受け手に正確に伝わるとカラーリングができるようになる。									
授業の概要									
色のしくみと衣食住の中のさまざまな不思議な見え方や効果を発見する。自分の生活や好きなことに活かすことができるよう、配色カードを使いながら効果的な配色法を習得する。									
成績評価の方法									
学習意欲、課題、小テストを総合評価する。※忘れ物は減点対象とする。						学習意欲 40% 課題 30% 小テスト 30%			
使用テキスト・教材									
色彩活用ライフケアカラー検定3級公式テキスト (角川学芸出版) 配色カード、はさみ、のり									
授業内容・授業計画									
1. 5章 色のしくみ 2. 5章 色の三属性 3. 5章 トーン 4. 5章 色彩心理・5章テスト 5. 6章 配色の基本 6. 6章 配色の応用・6章テスト 7. 1章 ファッションカラー 8. 2章 フードカラー 9. 3章 インテリアカラー 10. 4章 ライフケアカラー 11. ワークショップ			時間数 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 10						
その他			関連科目						

			年 度	2022 年度	
			科目コード	C-K46	
授 業 科 目 名			授業形態	学科・コース	
カラーコーディネイトII			講義 演習	コンピュータ科 ビジネスコース	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	選択B 選択者必修	30	1	小長谷 由紀子
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
1年次に学習した色の基礎知識を基に、「衣・食・住・心」のテーマをさらに深く掘り下げ、知識を得た証として、ライフケアカラー検定3級を受験します。応用編としての資料作りは、統一感があつて見やすく、要点はわかりやすい、説得力のある良い資料ができることを目指します。					
授 業 の 概 要					
上述のテーマ・目標に沿って、下記の通り細目を設け、それぞれの回を講義した後には小テストを実施し、7月に実施されるライフケアカラー検定3級の受験に合わせた対策(過去問題)を行います。 制作物に関しては発表の機会を設け、レポート提出を行う場合もあります。					
成 績 評 価 の 方 法					
過去問題の到達点、学習意欲(出欠状況・授業態度)を総合評価したうえで決定します。					
資格取得 40% 問 題 40% 学習意欲 20%					
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
色彩活用ライフケアカラー検定3級公式テキスト 配色カード、はさみ、のり					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
1. [第1章]ライフケアカラー 2.[第2章]色の基本 色のしくみ 色の三属性 トーン 色名 光と色 3.[第3章]色の効果 色の心理的効果 色のイメージと効果 4. [第4章] 配色の基本的な考え方 色相配色 トーン配色	時間数 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	5.[第5章]ファッショニカラ 「衣」と色 コーディネート 6. [第6章]フードカラ 「食」と色 テーブルコーディネート 7. [第7章]インテリアカラ 「住」と色 インテリアコーディネート 「安全」のための色づかい 8. 資料作り 9. 過去問題	時間数 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 4 8		
そ の 他			関連科目		

シラバス (授業概要)			年 度	2022 年度
時間数は45分換算			科目コード	C-K47
授業科目名		授業形態	学科・コース	
英会話		演習	コンピュータ科 ビジネスコース	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数
2	前期	選択B 選択者必修	30	2
授業の目的・到達目標				
修学旅行で必要な基本的な英会話を学習し、簡単な会話が出来るようになる。				
授業の概要				
テキストに沿って、学習する。 CDからのヒアリングによって、問題を解き、答え合わせをする。 WORKBOOKをやり、残った分は宿題とする。				
成績評価の方法				
WORKBOOKの宿題、最後の授業内での英会話テスト結果を総合評価する。				
会話試験 50% 宿題 50%				
使用テキスト・教材				
In Company Elementary Student's Book CEF Level A1-A2 Macmillan				
授業内容・授業計画				
1.自己紹介 2. Who are you? 3. I'm on the train 4. Eating out 5. Case study discussion 6. The conference 7. Can you or can't you? 8. Franchises 9. Hotels 10. Case study discussion: Incentives 11. A good day?	時間数 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	12. Carry-on travel 13. The weather 14. Car hire 15. 会話レッスン(試験)	時間数 2 2 2 2	
その他		関連科目		

シラバス (授業概要)			時間数は45分換算	年 度	2022年度		
授業科目名			授業形態	科目コード			
商業・会計			講義	コンピュータ科 ビジネスコース			
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	通年	選択B 選択者必修	60	4	小田切 克子		
授業の目的・到達目標							
社会保険、所得税、相続などの基本的な知識を学び、ファイナンシャル・プランニング技能検定3級学科の合格を目指す。身近にある、社会保険の仕組みが説明でき、金利計算や所得税の計算ができるようになる。							
授業の概要							
ファイナンシャル・プランニング技能検定の範囲である6分野の基本的な用語や仕組みを理解する。単元ごと基礎用語の理解度を図る小テストを実施するため家庭での自主学習も必要である。 過去問題を繰り返し解き、ファイナンシャル・プランニング技能検定を取得する。							
成績評価の方法							
単元ごとに実施する小テストの結果、過去試験問題結果、学習意欲と授業態度を勘案して総合評価する。							
小テスト 20% 期末試験 60% 学習意欲 20%							
使用テキスト・教材							
みんなが欲しかった教科書3級(22・23年版) TAC出版 みんなが欲しかった問題集3級(22・23年版) TAC出版							
授業内容・授業計画							
第1章 ライフプランニングと資金計画 6つの係数、社会保険、教育資金 第2章 リスク管理 生命保険、損害保険、個人年金 第3章 金融資産運用 債券、株式、投信、外貨 第4章 タックスプランニング 所得税 第5章 不動産 建築基準法、不動産に関する税 第6章 相続・事業承継 相続税、贈与税			時間数 8 8 8 8 8 8 8 8 8	過去問題対策(9回分)			
				時間数 12			
その他			関連科目				

			年 度	2022 年度	
シラバス (授業概要)			科目コード	C-K49	
時間数は45分換算			学科・コース		
授業科目名		授業形態	学科・コース		
ファイナンシャルプランニング		講義	コンピュータ科 ビジネスコース		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	選択B 選択者必修	90	6	小田切 克子
授業の目的・到達目標					
社会人として必要な知識である、年金、保険、金融、所得税、不動産、相続の学習をする。FP3級(実技)合格を目指す。老齢基礎年金受給額、建ぺい率・容積率、相続税額の計算ができるようになる。					
授業の概要					
1年次からの継続授業。FP3級(学科)の合格を前提に、実技試験の対策を行う。1年次に学習した内容を復習し、過去問題を解説する。年金、民間保険、所得税などの実務に即した考え方を理解する。過去問題を繰り返し解くことで、実技合格を目指す。					
成績評価の方法					
小テスト、期末テストを行い、学習意欲と授業態度を勘案する。					
期末試験 60% 小テスト 20% 学習意欲 20%					
使用テキスト・教材					
みんなが欲しかった教科書3級(21・22年版) TAC出版 みんなが欲しかった問題集3級(21・22年版) TAC出版					
授業内容・授業計画					
第1章ライフプランニングと資金計画 老齢基礎年金受給額の計算 老齢基礎年金の繰り上げ・繰り下げ受給		時間数 10	第5章不動産 建ぺい率、容積率の計算 登記簿の見方 固定資産税の計算		時間数 10
第2章リスク管理 確定拠出年金 保険証の見方		10	第6章相続・事業継承 贈与税基礎控除 贈与税の特例 相続税課税標準 相続税額の計算		10
第3章金融資産運用 株式の指標(PER・PBRなど)の計算 債券利回り計算		10	計算ドリル 過去問対策		4
第4章タックスプランニング 確定申告のルール、人的控除、物的控除 給与所得、退職所得、一次所得の計算		10			26
その他			関連科目		
			C-K48_商業・会計		

シラバス (授業概要)			時間数は45分換算		年度	2022年度		
					科目コード	C-K50		
授業科目名			授業形態		学科・コース			
資格取得講座 I			講義		コンピュータ科 ビジネスコース			
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員			
1	後期	選択B 選択者必修	60	2	梅原 萌子			
授業の目的・到達目標								
ハードウェア・情報処理システム・企業活動などの基本的な知識を学び、ITパスポート試験の合格を目指す。ITに関する基礎的な知識を獲得することで、ニュースや会話が理解できるようになる。								
授業の概要								
ITパスポート試験の範囲である11分野の基本的な用語や役割を総合的にまとめる。単元ごと基礎用語の理解度を図る小テストを実施するため家庭での自主学習も必要である。 過去問題を繰り返し解き、ITパスポート試験を取得する。								
成績評価の方法								
単元ごとに実施する小テストの結果、過去試験問題結果、学習意欲と授業態度を勘案して総合評価する。						小テスト 30% 期末試験 50% 学習意欲 20%		
使用テキスト・教材								
「身につく！合格！ITパスポート」(インフォテック・サーブ) 「ITパスポート試験過去問題集」(インフォテック・サーブ) 「身につく！合格！ITパスポート サブノート」(インフォテック・サーブ)								
授業内容・授業計画								
1. ハードウェア 5 大装置と CPU／入出力インターフェース 2. ソフトウェアとマルチメディア ファイル管理／表計算 3. システム構成 システムの構成／システムの信頼性 4. データベース データの正規化／排他制御と障害回復 5. ネットワーク 通信プロトコル／インターネットの仕組み 6. セキュリティ ユーザー認証／暗号化技術	時間数	7. アルゴリズムとプログラミング データ構造／プログラム言語 8. システム開発技術 システム開発プロセス／保守プロセス 9. マネジメント 開発技術／プロジェクトマネジメント サービスマネジメント 10. 企業活動と法務 企業会計／関連法規と標準化 11. 経営戦略 ビジネスインダストリ 12. 過去問題（10問）			時間数			
	4	7. アルゴリズムとプログラミング データ構造／プログラム言語			4			
	4	8. システム開発技術 システム開発プロセス／保守プロセス			4			
	4	9. マネジメント 開発技術／プロジェクトマネジメント サービスマネジメント			4			
	4	10. 企業活動と法務 企業会計／関連法規と標準化			2			
	4	11. 経営戦略 ビジネスインダストリ			2			
	4	12. 過去問題（10問）			20			
その他			関連科目					

シラバス (授業概要)			時間数は45分換算	年 度	2022年度
				科目コード	C-K51
授業科目名		授業形態	学科・コース		
資格取得講座II		演習	コンピュータ科 ビジネスコース		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	選択B 選択者必修	60	3	松川 麻美
授業の目的・到達目標					
Microsoft Office の PowerPoint の操作及び実習を通して、アプリケーションの理解を深め、Microsoft 社認定試験合格を目指す。PowerPoint を使用したプレゼンテーション作成技術を身に付けることができる。					
授業の概要					
資格対策は、1年次に学習した操作を復習しながら、出題傾向について理解を進める。それぞれの問題での理解度をチェックしていく。テキストに付属している模擬問題を繰り返し学習し、制限時間内に検定合格ラインに到達できる理解と力を深める。					
成績評価の方法					
模擬試験結果、検定結果および学習意欲を勘案して総合評価する。 模擬試験 20% 検定試験 70% 学習意欲 10%					
使用テキスト・教材					
よくわかるマスター MOS PowerPoint 365&2019 対策テキスト&問題集 (FOM 出版)					
授業内容・授業計画					
PowerPoint (MOS PowerPoint 2019) 1.プレゼンテーションの作成と管理 2.テキスト、図形、画像の挿入と書式 3.表、グラフ、SmartArt、メディアの挿入 4.画面切り替え、アニメーションの適用 5.複数のプレゼンテーションの管理 6.確認問題 7.模擬試験 8.検定試験 9.課題作成			時間数		時間数
その他			時間数	関連科目	

シラバス (授業概要)			時間数は45分換算		年 度	2022年度		
			科目コード		C-K51			
授業科目名		授業形態		学科・コース				
資格取得講座II		講義・演習		コンピュータ科 ビジネスコース				
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員			
2	通年	必修	30	1	内野 千珠子			
授業の目的・到達目標								
<ul style="list-style-type: none"> 人はいかに行動するのかを元に自己理解をし、セルフコントロール及びより良い人間関係作りができるようになる。 社会に出る為の準備として、Well-beingを理解し Well-beingであるための行動習慣を知る。強みを活かして仕事や社会に貢献するための考え方や行動が身に付く。 								
授業の概要								
<ul style="list-style-type: none"> 社会に出る際に身につけておきたい自己コントロール法、アサーションスキル、ストレスマネジメント、レジリエンススキルなどを理解し、事例を通して適切なコミュニケーションや対応を習得する。 Well-beingであることが人生を豊かにし、組織・社会により貢献できることへの理解と、実生活に取り入れる方法を知り実践する。 								
成績評価の方法								
期末試験の結果、学習意欲(授業態度・授業後レポート)を総合評価したうえで決定する。 学習意欲を測る授業態度においては、授業中の演習への取り組み・グループでの協働学習における態度が重要である。						期末試験 60% 学習意欲 40%		
使用テキスト・教材								
<ul style="list-style-type: none"> 「ウェルビーイング」(日経文庫) ワークシート(自作他) 								
授業内容・授業計画								
1. オリエンテーション・マインドセット 2. ウェルビーイングとは 3. 強みを知り活かす <ul style="list-style-type: none"> 3-1 強み・弱みについての理解 3-2 VIA-ISで自分の強みを知る 3-3 24の徳性と強みの活かし方 4. 2つの心理学の違い <ul style="list-style-type: none"> 4-1 外的のコントロール心理学 4-2 選択理論心理学 5. 基本的欲求 <ul style="list-style-type: none"> 5-1 基本的欲求のプロフィールと特徴 5-2 人との関わりの上での活用 6. 上質世界	時間数 1 1 4 1 3 2	7. セルフコントロール <ul style="list-style-type: none"> 7-1 行動のシステム 7-2 セルフコントロールの仕方 8. より良い人との関わり方 9. コミュニケーションスキルの習得 10. 社会とウェルビーイング 11. 幸せの4つの因子 12. ウェルビーイングの高め方 13. ストレスマネジメント 14. 期末試験 15. 期末試験解答の確認と解説 16. レジリエンススキル			時間数 2 2 2 2 2 2 2 2 0.5 1.5			
その他			関連科目					